

## 第 68 回粘土科学討論会のお知らせ

■主 催：一般社団法人 日本粘土学会

■共 催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所

■協賛・後援：環境放射能除染学会，Clayteam，資源・素材学会，資源地質学会，地盤工学会，日本応用地質学会，日本化学会，日本火山学会，日本鉱物科学会，日本ゼオライト学会，日本セラミックス協会，日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会，日本第四紀学会，日本地学教育学会，日本地球化学会，日本地質学会，日本土壌肥料学会，日本熱測定学会，日本薄片研磨片技術研究会，日本ペドロロジー学会，農業農村工学会（順不同）

■期 間：2025 年 9 月 10 日（水）～ 12 日（金）

■会 場：産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館 〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 4-7  
<https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/>

■日 程（予定）：

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
9月10日(水)	受付	口頭発表		総会	理事会	特別講演	シンポジウム				懇親会
9月11日(木)	受付	口頭発表		常務委員会	ポスター発表		口頭発表	編集委員会			
		ポスター掲示									
9月12日(金)	見学会										

■受付・参加登録料：

各日の受付は9時に開始いたします。

参加登録料を前納されている方には、受付にて領収書、講演プログラム、名札などをお渡します。

参加登録料

会員（正，シニア，名誉，共催・協賛・後援学協会会員を含む） 7,000 円

学生会員（共催学会学生会員を含む） 3,000 円

非会員 15,000 円

学生非会員 8,000 円

参加登録料は原則として前納です。申込期間終了後は、それぞれ2,000円割増で申し受けます。

■会場案内：

受付 別館1階 総合受付横  
講演会場 別館会議室1・2（別館11階）  
理事会 別館会議室4（別館11階）  
常務委員会 本館第三会議室（本館4階）  
編集委員会 別館会議室4（別館11階）  
ポスター会場 別館会議室3・4（別館11階）

■総会・表彰式：

期 日：2025 年 9 月 10 日(水)

時 間：11:45～13:00

会 場：産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館会議室1・2

開催形式：上記会場のみ

8月下旬をめどに、Google Form を利用した総会出欠のお問い合わせをメール配信いたしますので、そのフォームを利用して総会の出欠をお知らせください。上記フォームを利用した出欠のご回答が難しい場合は、日本粘土学会事務局 <clay-post@as.bunken.co.jp>までお知らせください。

なお、総会欠席予定者には、今まで同様書面、あるいは上記フォームへのご回答により、代理人によってその議決権を行使する委任状をお送りいただくよう、お願いいたします。

表彰式は総会終了次第開催いたします。

## ■特別講演およびシンポジウム：

9月10日(水)14:00～18:00

- 14:00～14:50 特別講演 国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター 斎藤 眞  
「地質図の新たな活用をめざして～地質図Naviの活用法とテロワールとしての利用法を例として～」  
15:00～18:00 シンポジウム テーマ「循環型社会構築に向けた粘土科学の役割」

## ■一般講演（口頭発表）：

口頭発表は1会場にて行います。発表時間は交代時間を含めて15分です。講演8分・質疑6分です。  
ご自分のパソコンでパワーポイントを起動し、会場用意のケーブルでプロジェクターに接続の上、発表をお願いします。ケーブルはHDMIです。

## ■一般講演（ポスター発表）：

9月11日(木) 9:30～13:00 ポスター掲示, 13:00～14:50 ポスター発表  
(13:00～13:50 奇数番号発表コアタイム, 14:00～14:50 偶数番号発表コアタイム)  
ポスターのサイズはA0縦(841mm-1189mm)です。ポスター掲示用のテープ・ピンなどは実行委員会で用意します。

## ■講演要旨公開について：

講演要旨は2025年9月8日(月)に日本粘土学会ウェブページに掲載いたします。要旨の公開日は9月8日(月)となります。参加申し込み頂いた方に要旨ファイルを開くためのパスワードをお知らせします。  
討論会終了後、講演要旨はJ-Stageにて公開いたします。公開を希望されない場合、討論会開催日までに日本粘土学会事務局までご連絡ください。

## ■懇親会：

日 時：2025年9月10日(水) 18:45～20:45  
会 場：グランドニッコー東京 台場  
(〒135-8701 東京都港区台場2-6-1)  
会 費：5,000円, 学生2,000円  
懇親会会費は原則として前納です。申込期間終了後は、7,000円にて申し受けます。  
(但し定員に達し次第、受付を終了とさせていただきます。)

## ■見学会：

日 時：2025年9月12日(金) 9:00～17:00  
見学先：稲田石採石場, 笠間焼協同組合, 向山窯  
工 程：TXつくば駅(9:00発)→稲田石採石場(1時間)→笠間工芸の丘にて昼食→笠間焼協同組合(30分)→向山窯(1時間)→TXつくば駅解散(17:00頃)  
会 費：一般4,000円, 学生2,000円(いずれも前納)(飲食代は含みません)  
募集定員:15名

## ■注意事項：

1. 配布された講演要旨集の無断複写、転載を禁止します。
2. 口頭発表時のスライドおよびポスター発表時のポスターの写真撮影を禁止します。講演者の記念撮影を行う場合には事前に座長の許可を得て行ってください。
3. 本講演要旨に掲載された要旨等の著作権は本学会に帰属します。ただし、著者自身が自分の論文等の全部または一部を複製・転写等の形で利用する場合はこれを妨げません。

## ■ご宿泊について：

各自ご手配ください。

## ■会場までの交通：

- 電車のご案内
  - ・新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車 徒歩3分
  - ・りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分
- バスのご案内
  - 「テレコムセンター駅前」バス停下車 徒歩5分
  - ・りんかい線「東京テレポート」駅または地下鉄東西線・大江戸線「門前仲町」駅より都営バス「海01」乗車
- 羽田空港からお越しの場合
  - ・羽田空港→天王洲アイル(東京モノレール), 天王洲アイル→東京テレポート(りんかい線), 東京テレポート→お台場海浜公園(徒歩), お台場海浜公園→テレコムセンター(新交通ゆりかもめ)
  - ・羽田空港→浜松町(東京モノレール), 浜松町→新橋(JR山手線あるいはJR京浜東北線), 新橋→テレコムセンター(新交通ゆりかもめ)
- 車でのご来場はご遠慮下さい。

■周辺地図：



**電車のご案内**

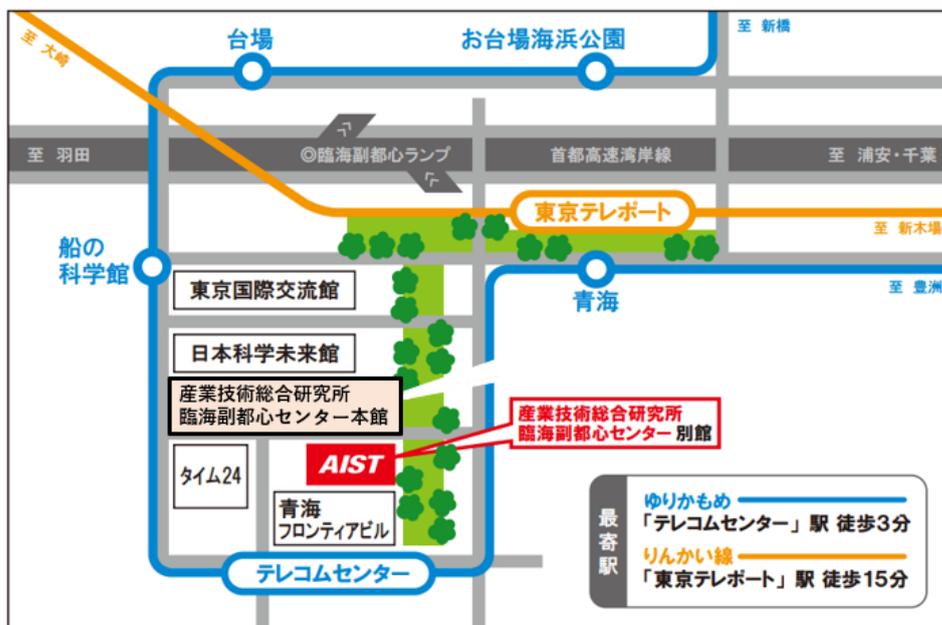
- 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車 徒歩3分
- りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分

**バスのご案内**

- りんかい線「東京テレポート」駅または地下鉄東西線・大江戸線「門前仲町」駅より都営バス [海01] 乗車

**羽田空港からお越しの場合**

- 空港からモノレール乗車
- 「天王洲アイル」駅でりんかい線に乗り換え
- 「東京テレポート駅」下車 徒歩15分



■第 68 回粘土科学討論会実行委員会：

- 産業技術総合研究所 鈴木正哉 (委員長)
- 産業技術総合研究所 森本和也 (事務局)
- 産業技術総合研究所 西木悠人 (事務局)
- 産業技術総合研究所 宮原英隆 (事務局)
- 産業技術総合研究所 万福和子 (事務局)
- 株式会社 AIST Solutions 高木哲一 (見学会)
- メールアドレス：M-68thCSSJ-m1@aist.go.jp

## 【プログラム】

### ■特別企画およびシンポジウム

9月10日(水) 14:00~18:00

#### ◆特別講演 14:00~14:50

座長: 鈴木正哉(産総研)

特別講演「地質図の新たな活用をめざして～地質図 Navi の活用法とテロワールとしての利用法を例として～」

○斎藤真(産業技術総合研究所 地質調査総合センター)

#### ◆シンポジウム「循環型社会構築に向けた粘土科学の役割」 15:00~18:00

座長: 渡邊雄二郎(法政大)

##### S1 15:05~15:35

ナノクレイ×自然資源: 循環型高性能バイオマス複合材料開発への挑戦

○田村堅志<sup>1</sup>, タンクス ジョナサン<sup>1</sup>, 佐久間博<sup>1</sup>, 末原茂<sup>1</sup>, 加門真純<sup>1</sup>, 渡邊雄二郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>物質・材料研究機構, <sup>2</sup>法政大)

##### S2 15:35~16:05

二酸化炭素固体吸収材への粘土鉱物の応用

○佐藤公法(東京学芸大学環境科学分野)

##### S3 16:05~16:35

持続可能な地球環境を目指した無機イオン交換体の開発と応用

○大榮薫, 大島達也(宮崎大学工学教育研究部)

(休憩) 16:35~16:45

座長: 渡邊保貴(電中研)

##### S4 16:45~17:15

中間貯蔵施設周辺復興地域の融合的な環境再生・環境創生に向けた研究

○万福裕造<sup>1</sup>, 遠藤和人<sup>2</sup>, 保高徹生<sup>3</sup> (<sup>1</sup>農業・食品産業技術総合研究機構, <sup>2</sup>国立環境研究所, <sup>3</sup>産業技術総合研究所)

##### S5 17:15~17:45

ベントナイトの精製とX線回折によるその純度測定の実例報告

○皆瀬慎<sup>1,2</sup>, 早川崇之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>(株)ホー・ジュン, <sup>2</sup>日本有機粘土(株))

#### 総合討論 17:45~18:00

座長: 渡邊雄二郎(法政大)、渡邊保貴(電中研)

### ■一般講演 (口頭発表)

9月10日(水) 9:30~11:30, 9月11日(木) 9:30~11:45, 15:00~17:00

#### 9月10日(水)

9:30~10:30 座長: 鈴木憲子, コメンテーター: 高木哲一, 小口千明

##### 01 低加速走査電子顕微鏡からみたスメクタイトの積層構造

○中戸晃之<sup>1</sup>, 谷川友陽<sup>1</sup>, 毛利恵美子<sup>1</sup>, 山内悠輔<sup>2</sup>, 宮田浩克<sup>2</sup> (<sup>1</sup>九州工業大学大学院工学研究院, <sup>2</sup>名古屋大学大学院工学研究科)

##### 02 電子顕微鏡を用いた粘土鉱物ナノシート表面中和イオンの観察

○山口祥平<sup>1</sup>, 波多聰<sup>2</sup>, 石田洋平<sup>2</sup> (<sup>1</sup>九州大学大学院総合理工学府, <sup>2</sup>九州大学総合理工学研究院)

##### 03 セメンテーションによるベントナイトの膨潤性低下のメカニズム -電子顕微鏡観察による微視的考察-

○石渡翔丸, 菊池亮佑, 大竹翼 (北海道大学)

##### 04 山梨県砥山角礫岩パイプに産する黒雲母の変質過程

○井上紗綾子<sup>1</sup>, Tristan Loyre<sup>2</sup>, Dimitri Prêt<sup>2</sup> (<sup>1</sup>愛媛大学 GRC, <sup>2</sup>ポアティエ大学 IC2MP)

10:30~11:30 座長: 藤村卓也, コメンテーター: 中戸晃之, 井出裕介

##### 05 過熱水蒸気雰囲気におけるカオリナイトの焼成による Si と Al の表面拡散の調査

○町田慎悟(ファインセラミックスセンター)

##### 06 イオン電導性ゲル電解質への粘土添加がイオン運動性に与える影響

○山岸拓人<sup>1</sup>, 大谷優太<sup>2</sup>, 宮崎健輔<sup>2</sup> (<sup>1</sup>北見工業大学大学院, <sup>2</sup>北見工業大学工学部)

##### 07 合成サポナイトとウルスターラジカルカチオンとのハイブリッド膜が示す不可逆的なサーモクロミズム

○谷誠治<sup>1,2</sup>, 末武稜太<sup>2</sup>, 渡邊航矢<sup>2</sup>, 川俣純<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>山口大大学院創成科学研究科, <sup>2</sup>山口大学理学部)

##### 08 長鎖アルキル基を有する有機化合物のインターカレーションによる発光量子収率の高い粘土-有機化合物ハイブリッド材料

○川俣純<sup>1,2</sup>, 金光賢太郎<sup>1</sup>, 奥原浄泉<sup>2</sup>, 今岡快<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山口大学大学院創成科学研究科, <sup>2</sup>山口大学理学部)

9月11日(木)

9:30~10:15 座長:井上紗綾子, コメンテーター:佐藤努, 伊藤健一

- 09 凝集沈降体積測定による火山灰由来土のイモゴライト含量の推定  
○和田信一郎<sup>1</sup>, 森裕樹<sup>2</sup>, 平舘俊太郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>(株)アステック, <sup>2</sup>九州大学農学研究院)
- 010 炭素質コンドライトの粘土鉱物組成の再検討  
○奥村玲音<sup>1</sup>, 福士圭介<sup>2</sup>, 大野智洋<sup>3</sup>, 癸生川陽子<sup>4</sup>, 高橋嘉夫<sup>3</sup> (<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科地球社会基盤学専攻, <sup>2</sup>金沢大学環日本海域環境研究センター, <sup>3</sup>東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻, <sup>4</sup>東京科学大学理学院)
- 011 マグネシウム・シリケート・ハイドレートの溶解度の再検討  
○大屋遥輝<sup>1</sup>, 福士圭介<sup>2</sup>, 奥村玲音<sup>1</sup>, 深谷創<sup>1</sup>, 藤弥巧磨<sup>1</sup>, 高橋嘉夫<sup>3</sup>, 大野智洋<sup>3</sup> (<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科地球社会基盤学専攻, <sup>2</sup>金沢大学環日本海域環境研究センター, <sup>3</sup>東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)

10:15~11:00 座長:亀島欣一, コメンテーター:白井誠之, 岡田友彦

- 012 クレイ層間におけるカチオン性ピラー[5]アレーンの凝集特性の解明  
○竹本侑平, 角田貴洋, 山岸忠明 (金沢大学大学院自然科学研究科)
- 013 ピラー[5]アレーン修飾ハイドロタルサイトによるメチルビオロゲン吸着挙動  
○松下聡希, 角田貴洋, 山岸忠明 (金沢大学大学院自然科学研究科)
- 014 カーボンナノチューブ合成における Co 含有層状複水酸化物 (Co-LDH) の触媒作用  
○千田知香<sup>1</sup>, 會澤純雄<sup>1,2,3</sup>, 桑静<sup>1,2,3</sup>, 平原英俊<sup>3</sup>, 高橋一玄<sup>4</sup>, 木村寛恵<sup>4</sup>, Don N. Futaba<sup>5</sup> (<sup>1</sup>岩手大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup>岩手大学グリーン表面界面ナノ工学ユニット, <sup>3</sup>岩手大学分子接合技術研究センター, <sup>4</sup>一関工業高等専門学校未来創造工学科, <sup>5</sup>産業技術総合研究所)

11:00~11:45 座長:毛利恵美子, コメンテーター:田村堅志, 笹井亮

- 015 クエン酸コバルト/層状複水酸化物を触媒前駆体として用いたカーボンナノチューブの合成  
○工藤凜<sup>1</sup>, 會澤純雄<sup>1,2,3</sup>, 桑静<sup>1,2,3</sup>, 平原英俊<sup>3</sup>, 木村寛恵<sup>4</sup>, Don N. Futaba<sup>5</sup> (<sup>1</sup>岩手大学大学院総合科学研究科, <sup>2</sup>岩手大学グリーン表面界面ナノ工学ユニット, <sup>3</sup>岩手大学分子接合技術研究センター, <sup>4</sup>一関工業高等専門学校未来創造工学科, <sup>5</sup>産業技術総合研究所)
- 016 層状複水酸化物 (LDH) へのアルプテンの取り込みおよび酸化重合によるポリアルプテン/LDH 複合体の合成  
○西田駿平<sup>1</sup>, 會澤純雄<sup>1,2,3</sup>, 桑静<sup>1,2,3</sup>, 平原英俊<sup>3</sup>, 芝崎祐二<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>岩手大学大学院総合科学研究科, <sup>2</sup>岩手大学グリーン表面界面ナノ工学ユニット, <sup>3</sup>岩手大学分子接合技術研究センター)
- 017 層状複水酸化物のイオン導電性における導電イオン種  
○園山範之, 酒井優一, 内村俊介 (名古屋工業大学大学院工学研究科)

9月11日(木)

15:00~16:00 座長:福士圭介, コメンテーター:横山信吾, 菊池亮介

- 018 硫酸塩・凍結融解に対する各種モルタルの抵抗性比較  
○小口千明<sup>1</sup>, 渡辺慧<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東京科学大学, <sup>2</sup>さいたま市)
- 019 大気暴露下におけるマグネシウム合金 AZ31 に生じた腐食生成物の解析  
○上原佳織, 藤林亘江, 村瀬正次 (JFE テクノリサーチ(株))
- 020 変質した玄武岩への CO<sub>2</sub> 地中貯留における鉱物固定量評価:地球化学反応モデリングによる予察  
○西木悠人, 徂徠正夫 (産総研)
- 021 その場 X 線回折実験によるスメクタイトの冠水・変質 -長尺試料による Na スメクタイト-KCl 水溶液系  
三好悟<sup>1</sup>, 丸山凌太郎<sup>2</sup>, 木本和志<sup>2</sup>, 河村雄行<sup>3</sup> (<sup>1</sup>大林組技術本部, <sup>2</sup>岡山大環境生命, <sup>3</sup>東科大機械)

16:00~17:00 座長:手束聡子, コメンテーター:梅村泰史, 會澤純雄

- 022 分子動力学シミュレーションを用いたモンモリロナイト層間へのセシウム吸着に関する自由エネルギーの層電荷依存性  
○平口敦基<sup>1</sup>, Xiaojin Zheng<sup>2</sup>, Thomas R. Underwood<sup>3</sup>, 小林恵太<sup>1</sup>, 山口瑛子<sup>1</sup>, 板倉充洋<sup>1</sup>, 町田昌彦<sup>1</sup>, Kevin M. Rosso<sup>3</sup>, Ian C. Bourg<sup>2</sup>, 奥村雅彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>JAEA, <sup>2</sup>Princeton Univ., <sup>3</sup>PNNL)
- 023 第4級長鎖アルキルアンモニウム修飾モンモリロナイトへのオレイン酸吸着  
○小林凌斗, 岡田友彦 (信州大学大学院総合理工学研究科)
- 024 リン酸ジルコニウムに担持した酸化チタンナノ粒子によるカチオン色素の光触媒分解  
○宇佐美久尚, 藤田大輔 (信州大学大学院総合理工学研究科)
- 025 グリーンラストを用いた水素化ホウ素ナトリウム加水分解触媒設計  
エズエレガルモハメド<sup>1,2</sup>, 篠原功一<sup>3</sup>, 押切光文<sup>1</sup>, 井出裕介<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>NIMS, <sup>2</sup>横国大, <sup>3</sup>デンカ(株))

■一般講演（ポスター発表）

9月11日（木）13：00～14：50（コアタイム奇数番号13：00～13：50，偶数番号14：00～14：50）

- P1 英語×日本語×4コマ漫画×粘土鉱物を活用した親子学習の実践例  
○水野克己<sup>1</sup>，地下まゆみ<sup>2</sup>，乾徹<sup>3</sup>，大嶺聖<sup>4</sup>，遠藤和人<sup>5</sup>，勝見武<sup>6</sup>（<sup>1</sup>ESP実行委員会，<sup>2</sup>大阪大谷大学，<sup>3</sup>大阪大学，<sup>4</sup>長崎大学，<sup>5</sup>国立環境研究所，<sup>6</sup>京都大学）
- P2 2020年以降にロット変更となった日本粘土学会参考粘土試料（JCSS-1101c，JCSS-3101b，JCSS-5501b）の分析・評価  
○森本和也<sup>1</sup>，菊池亮佑<sup>2</sup>（<sup>1</sup>産業技術総合研究所，<sup>2</sup>北海道大学）
- P3 メチレンブルー吸着量簡易測定における分散媒の代替性評価  
○小黒雅智，永藤瑠璃子，佐藤悌治，長井雄希，黒崎英和（黒崎白土工業（株））
- P4 粉末×線回折パターンのフィッティング解析による蛇紋岩中鉱物の定量  
○永田和樹，中尾淳，矢内純太（京都府立大学土壌学研究室）
- P5 Na型ベントナイトのKCl溶液による不飽和浸透のその場×線観察  
○丸山凌太郎<sup>1</sup>，木本和志<sup>1</sup>，河村雄行<sup>2</sup>（<sup>1</sup>岡山大学環境生命自然科学学域，<sup>2</sup>東京科学大学機械系）
- P6 層電荷の異なる四ケイ素型NaマイカのNa<sup>+</sup>イオンの位置，膨潤能およびアルカリ金属イオンとのイオン交換能  
○樽田誠一，蜜田寧々（信州大学工学部）
- P7 ポータブル複合×線分析を用いた陶磁器の胎土分析（その2）—平泉および中国出土資料の比較検討—  
○會澤純雄<sup>1,2</sup>，桑静<sup>1,2</sup>，平原英俊<sup>1,2</sup>，徳留大輔<sup>3</sup>（<sup>1</sup>岩手大学理工学部，<sup>2</sup>岩手大学平泉文化研究センター，<sup>3</sup>出光美術館）
- P8 含ネオジム釉薬によるフォトリソグラフィを有する陶磁器の物質科学的研究  
○千賀大雅<sup>1</sup>，井上紗綾子<sup>2</sup>，白勢洋平<sup>1</sup>（<sup>1</sup>愛媛大学大学院理工学研究科，<sup>2</sup>愛媛大学GRC）
- P9 人工海中での加熱によるベントナイトの構造・組成変化  
○吉川絵麻<sup>1</sup>，横山信吾<sup>1</sup>，小暮敏博<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>一般財団法人電力中央研究所，<sup>2</sup>早稲田大学）
- P10 モンモリロナイト分散液上での長鎖アルキルアンモニウムイオンと粘土ナノシートとの会合に対するメタノール添加効果  
○梅村泰史，山本浩二（防衛大学校応用化学科）
- P11 粘土化合物によるPET繊維の表面修飾とイオン性色素吸着過程の解明  
○渡邊光敬<sup>1</sup>，宇佐美久尚<sup>1</sup>，鈴木素<sup>2</sup>（<sup>1</sup>信州大学大学院総合理工学研究科，<sup>2</sup>hap（株））
- P12 細胞内アミノ酸イメージングを志向した金属錯体-粘土複合型プローブの開発と細胞応答評価  
○瀧本和誉<sup>1</sup>，玉木竣<sup>2</sup>，弓削秀隆<sup>1</sup>（<sup>1</sup>北里大学理学部，<sup>2</sup>北里大学医療衛生学部）
- P13 有機修飾粘土を反応場としたIr(III)錯体のフォトン・アップコンバージョン  
○伊藤理彩<sup>1</sup>，原伸行<sup>2</sup>，吉田純<sup>1,2</sup>，佐藤久子<sup>3</sup>，山岸皓彦<sup>4</sup>（<sup>1</sup>日大院総合基，<sup>2</sup>日大文理，<sup>3</sup>愛媛大理，<sup>4</sup>東邦大医）
- P14 粘土/バイオマスポリアミドハイブリッドの熱酸化劣化耐性  
○丸山海<sup>1,2</sup>，タンクス ジョナサン<sup>1</sup>，佐久間博<sup>1</sup>，渡邊雄二郎<sup>2</sup>，田村堅志<sup>1</sup>（<sup>1</sup>物質・材料研究機構，<sup>2</sup>法政大学）
- P15 粘土ナノシート上に固定された三重項性ポルフィリン分子における熱活性化遅延蛍光の制御  
○畑山奨馬<sup>1</sup>，須川晃資<sup>2</sup>，大月穰<sup>2</sup>（<sup>1</sup>日本大学大学院理工学研究科，<sup>2</sup>日本大学理工学部）
- P16 無機ナノシート層間におけるジスルフィド結合の反応性とその素材化  
○タンクス ジョナサン，田村堅志（物質・材料研究機構）
- P17 単分散チタニアナノシートと種々のカチオンを複合化した積層型ナノファイバー  
○神垣拓也<sup>1</sup>，岩野広幸<sup>2,3</sup>，宮元展義<sup>1,4</sup>（<sup>1</sup>福工大院工，<sup>2</sup>横国大院理工，<sup>3</sup>物材機構，<sup>4</sup>広大WPI-SKCM<sup>2</sup>）
- P18 単分散チタニアナノシートの薄膜化とファイバー化  
○井手悠<sup>1</sup>，宮元展義<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>福工大院工，<sup>2</sup>広大WPI-SKCM<sup>2</sup>）
- P19 染色Mg-Al層状複水酸化物膜の耐光性評価  
○福田内暁<sup>1,2</sup>，岩村龍清<sup>2</sup>，青野宏通<sup>3</sup>（<sup>1</sup>愛媛大学紙センター，<sup>2</sup>愛媛大学社会共創学部，<sup>3</sup>愛媛大学理工学研究科）
- P20 ヘクトライト被覆シリカへの陰イオン性色素の吸着  
○大井玲奈，岡田友彦（信州大学工学部）
- P21 Znスメクタイトと球状シリカ粒子との複合化  
○望月翔太，岡田友彦（信州大学工学部）
- P22 LDHとサポナイトの複合化によるチクソトロピー性血管造影剤の開発  
○清水創太<sup>1</sup>，安東洋祐<sup>1</sup>，武田真一<sup>2</sup>，高島愛<sup>3</sup>，米山明男<sup>4</sup>，樽谷直紀<sup>5</sup>，中平敦<sup>1</sup>，徳留靖明<sup>1</sup>（<sup>1</sup>大阪公立大学，<sup>2</sup>武田コロイドテクノ・コンサルティング（株），<sup>3</sup>MSサイエンティフィック（株），<sup>4</sup>九州シンクロトロン光研究センター，<sup>5</sup>広島大学）
- P23 肥料成分含有天然ゼオライト/層状複水酸化物複合体の作製  
○高松優里彩，渡邊雄二郎（法政大学院理工学研究科）
- P24 吸着剤を用いた熱と二酸化炭素の同時輸送システム  
○鈴木正哉，宮原英隆，万福和子（産総研）
- P25 促進酸化処理における試料の前処理の影響  
○伊藤健一<sup>1</sup>，小谷護留<sup>1,2</sup>，森下智貴<sup>3</sup>，三浦俊彦<sup>3</sup>，日笠山徹己<sup>3</sup>（<sup>1</sup>宮崎大学国際連携機構，<sup>2</sup>国土防災技術（株），<sup>3</sup>（株）大林組）
- P26 石英の酸素同位体比を用いた花崗岩帯土壌への風成塵の影響解明  
○井上靖之<sup>1</sup>，中尾淳<sup>1</sup>，小暮敏博<sup>2</sup>，田中亮史<sup>3</sup>，矢内純太<sup>1</sup>（<sup>1</sup>京都府立大学，<sup>2</sup>東京大学，<sup>3</sup>岡山大学）
- P27 熔融塩・酸処理による土壌中の放射性セシウムの最適脱離法の検討とポルサイトによる固定化  
○上原英愛<sup>1</sup>，駒澤光祐<sup>1</sup>，末原茂<sup>2</sup>，田村堅志<sup>2</sup>，渡邊雄二郎<sup>1</sup>（<sup>1</sup>法政大学大学院理工学研究科，<sup>2</sup>物材機構）